

# おびひろ 市議会 だより

NO. **33**  
令和3年  
3月定例会号



清川の菜の花畑

新年度予算やコロナ対策関連予算を審議・可決（2月臨時会・3月定例会）

## 臨時会の概要

令和3年第1回臨時会を2月16日、17日の2日間の会期で開催し、コロナ対策関連の令和2年度一般会計補正予算（第13号）などについて審議しました。

## 定例会の概要

令和3年第2回定例会を3月1日から3月25日までの25日間の会期で開催しました。

令和3年度各会計予算をはじめ、令和2年度一般会計補正予算・令和3年度一般会計補正予算・条例の改正などを審議したほか、各会派の代表者5人が市長の市政執行方針に対する代表質問を、17人の議員が一般質問をそれぞれ行いました。

国立病院の機能強化を求める意見書を全会一致で可決し、国会や関係行政省庁へ提出しました。

### ― 陳情1件を議決 ―

右の意見書を提出したため、同趣旨の意見書の提出を求めた「陳情第1号『国立病院の機能強化を求める意見書』提出について」は、採択とみなしました。

### ● 目次 ●

臨時会・定例会の概要	1
代表質問、令和2・3年度補正予算に対する議論の概要	2~3
一般質問	4~5
令和3年度予算に対する議論の概要	5~6
本会議での討論、常任委員会等の動きなど	7
常任委員会の政策提言、議会運営委員会の調査報告の概要など	8

### ○国立病院の機能強化を求める意見書 ― 要約 ―

コロナの感染拡大によって、日本の感染症対策・医療体制の脆弱さが浮き彫りとなる中で、必要な人員・医療機器・物品などが欠乏し、国民の命が救えないなどという状況になることがないよう、国が責任をもって抜本的対策に取り組み、国立病院を機能強化するよう求める。



※意見書の全文は市議会ホームページをご覧ください



### 令和3年度予算 注目事業 (3月定例会)

#### アザラシ舎の整備

- ・「スプラッシュ演出」を狙ったステージの増設やスロープの改修などを実施



【アザラシのミナ】

#### 児童会館の施設整備

- ・プラネタリウム機器の更新（令和4年4月供用開始）
- ・ネットロープ遊具の導入（令和3年8月供用開始）など



#### 学校図書資料の拡充

- ・国の基準冊数に対する蔵書率が100%となるよう、小中学校の図書資料を整備

#### 新エネルギーの導入促進

- ・家庭部門からのCO<sub>2</sub>排出量削減を推進するため、補助金の対象にエネファームを追加

### コロナ対策関連補正予算の内容 (抜粋) (2月臨時会・3月定例会)

#### ワクチン接種



- ・コロナワクチン接種に向けた体制整備および医療関係者・高齢者などへのワクチン接種の実施

#### 飲食業支援

- ・中心市街地の繁華街における感染防止策や支援金20万円の支給

#### ワーケーションの推進

- ・首都圏などの企業がワーケーションなどに取り組むことができるよう、ポロシリ自然公園へのWi-Fi環境の整備

#### キャッシュレス決済

- ・非接触決済による感染症対策や利便性向上のため、令和4年4月からの市税・保険料等の納付へのキャッシュレス決済導入に向けた準備



※ 本号では、新型コロナウイルス感染症のことを「コロナ」と略して表記しています。



※距離を取るなどのコロナ対策を実施しながら質疑を行っています。



市長は市民・議員との信頼関係をどのように築き上げてきたのか？

市長は、3期10余年にわたる取組みが、この地域にどのようなことをもたらしたと考えているか。また、これまでの成果を踏まえ、今後取り組むべきことをどのように認識しているのか。

市長就任以来、「市民の幸せ」をまちづくりの基本に据え、食や農など、十勝・帯広が有する資源を最大限に生かしながら、地域経済の活性化や生活環境の充実をすすめてきた。

今後も感染症など、変化する情勢にしっかりと対応しながら、残された任期の中で、公約や総合計画の推進を着実にすすめて、持続的に発展する豊かな地域社会の実現に向け、全力で市政執行にあたる。

本市の人口が、釧路市と並ぶなど、帯広の存在感が高まっているが、東北海道における帯広市の役割をどのように捉えているのか市長に伺う。

道央圏への一極集中がすすむ中、高規格幹線道路の延伸や、空港一括民間委託の開始などに伴い、今後、東北海道において十勝・帯広に期待される役割はますます大きくなっていくものと考えており、その広域的な役割をしっかりと果たしていくことが重要。

環境省の担当部署などからも助言をいただきながら、名称なども含め、様々な場面で要望をしている。国立公園が誕生した先には、同公園を介する日高地域との連携など、新たな展開に期待を寄せている。

市長の政治姿勢

私は平成29年9月議会で、市長ご自身は、首長多選をどう考えるのかとただしたが、その思いは今も変わっていないのか。

一般的に、権力は腐敗すると言われるように、長期にわたることで組織の風通しが悪くなり、結果として意思決定や組織の行動に好ましくない影響を及ぼすという考えは望ましくないという考えに変わりはない。

市長の今回の市政執行方針の結びに「信無くば立たず」とあった。なるほどと思うが、私は議員15年目、米沢市長とは11年目の付き合いになるが、親しく話した時が一度あるだけ。市長・副市長のいる市役所4階とは、かくも議員・市民に遠い存在なのかと改めて認識をしている。人と人との信頼関係は長い間かけて築かれるものではないか。まして政治家として、市長は多様な方と会い、意見を聞くのも仕事のうちと考える。

市長はいざという時の信頼関係を今までのように築き上げてきたのか。

今、混沌とする社会において、閉塞感に押しつぶされそうになる時。そうした時こそ、お互いの信頼を高めていくことが必要だが、出来るのだろうか。はなはだ疑問であると感じる。



「新常態」のまちづくり、「第七期総合計画」により前進を

コロナ対策

感染防止に対する決意を伺う。

感染対策は長丁場となることが見込まれており、しっかりと感染状況を見極めながら、国や北海道との連携の下、適切な情報の提供や感染拡大防止対策に努め、市民の皆さんの安全・安心な暮らしの実現に全力で取り組んでいく。

「新常態」のまちづくり

現在の感染症対策を日常とした「新常態」におけるまちづくりとSDGsについて伺う。

良質な食・農、雄大な自然など、地域の強みを最大限に生かしながら、人々が生き生きと暮らし、活力あるまちづくりをすすめるため、令和2年に「第七期帯広市総合計画」を策定し、複雑・多様化する地域課題の解決に総合的に取り組んでいる。この考え方は、人間を尊重し、経済・社会・環境の様々な課題に統合的に取り組むSDGsの理念と共通するものである。今後、情勢の変化に的確に対応し、計画に掲げる各施策を総合的に推進することで、持続可能で活力あるまちづくりをすすめる。SDGsの達成に貢献していく。

一年単位の变形労働時間制

学校に導入することについて考えを伺う。

教育職員のリフレッシュにつなげることで、児童生徒に対する効果的な教育活動や、教職の魅力向上を図ることを目的として導入されるもの。本制度を導入することのみで教員の勤務時間が縮減されるものではないと認識しているが、働き方改革をすすめる上での選択肢の一つになるものと考えている。今後、校長会や教職員の意見も参考にしながら、制度の導入について検討していく。

帯広市「多様な性に関する職員ガイドライン」

学校での取扱いを伺う。

学校では、様々な悩みを抱えている児童生徒の心に寄り添った指導が必要であり、教職員が多様な性に関するものについても理解を深める必要があると考えている。教育委員会としては、これまでも文部科学省や北海道教育委員会で作成した教員向けの資料の提供をはじめ、長期休業中に教職員向けの研修講座を行うなど、教職員の理解が深まるよう支援してきた。また、このたび策定された帯広市の職員ガイドラインについては、すでに学校にも情報提供しており、市民活動課と連携し、教職員を対象とした研修をオンラインで実施したところであり、今後もガイドラインを活用した取組みをすすめていく。



コロナ禍の感染予防対策と経済対策 少年院跡地を文教都市構想に

コロナ対策について、依然として先行き不透明な中で、これまでの課題をどう捉え、どう解決していくのか。

市としては国や道、関係機関と連携し、引き続き感染予防対策を徹底していく。

ワクチン接種には集団接種という選択肢もあるが、市の考えは。

高齢者は個別接種を基本とし、その後の接種方法については、実施状況などを検証しながら、医師会などと検討をすすめていく。

街中に人の流れを戻すため、十勝総合振興局や商工会議所などが連携し、五番館ビルをモデルにしながら繁華街の感染予防対策をアピールしている。予防対策と経済の両輪をどう回すのか。

繁華街での感染拡大防止に向けた事業者の取組みを支援するほか、飲食業への臨時的な支援も行う。また、宿泊助成やワーケーションなどの促進により、人の流れを創出し、段階的に経済の回復につなげていく。

十勝・イノベーション・エコシステムについて伺う。

農村地域の光回線整備は令和3年度末までに整備を完了する。また先進的な取組みをすすめる企業や団体と連携し、スマート農業の導入などを支援していく。

とち帯広空港や観光需要回復に向けた観光戦略について伺う。

アウトドア観光を核に、とち帯広空港の需要回復に取り組んでいく。

日高山脈襟裳国定公園の国立化に向けた市長の考えを伺う。

国立公園化は、地域の価値をさらに高める。国立公園の利活用促進に取り組んでいく。

核兵器廃絶平和都市宣言30周年について伺う。

令和3年に核兵器禁止条約が発効され、帯広市平和都市宣言も30周年を迎える。平和な未来への思いを継承する契機としていく。

ケアラーを社会的に支援するケアラー支援条例の制定の考えは。

第八期保健福祉計画・介護保険事業計画において、介護者への支援を新たに加えた。実態把握と必要な対応の検討をすすめていく。

がん患者に対する外見ケアの助成制度の考えは。

がん対策は国や道の対策も含め、全体で考えていく必要がある。

令和4年3月には帯広少年院が閉庁となる。文教都市構想として土地利用について伺う。

現時点では具体的な取り扱いが未定だが、将来の発展につながる土地利用について検討していく。

ここに高等教育整備基金を活用してはどうか。

基金の用途については、とち帯広高等教育推進まちづくり会議の検討状況に合わせて整理していく。





コロナ禍に希望持てる社会を  
持続可能で活力ある地域経済を創る

コロナ後に希望の持てる社会を

【質】 コロナの拡大から1年がたち、十勝の感染者の9割が11月から1月に集中。無症状の感染者をPCR検査の積極的検査で見つけ、保護・追跡する戦略が急務。また、ワクチン頼みでなく感染対策をしっかり行うことが必要では。

【答】 一人ひとりの感染予防対策の継続が重要であり、ワクチン接種開始後も、引き続き啓発に努める。

【提言】 3社のワクチンについての情報提供を行い、市民が適切な判断を行えるようにすべき。

【質】 コロナ禍で地域経済と市民の暮らしは、かつてない厳しさに直面している。支援の状況は。

【答】 1万3000件を超える相談があり、支援策につないだ。税や公共料金の猶予や減免は1300万件で3億5000万円を超え、無利子無担保融資の認定はリーマンショック時の2年半分に相当。

【質】 休業支援金の申請支援制度の創設、持続化給付金などの再給付と税等の猶予を減免に切替えるなどの支援強化の考えは。

人化がすすんだ。

新しい未来を切り拓くひとを創る

【質】 コロナ禍は、社会的弱者により多くの困難を押し付ける。子どもも貧困は、日本財団の推計で北海道で約24%。子どもの貧困の社会的損失推計によると帯広市の損失額は、約900億円。一人ひとりの子どもが健やかに成長し次代を担うと共に、社会的損失をなくすためにも、子どもの貧困対策は待ったなしではないか。

【答】 教育や生活の支援、保護者への支援など多方面にわたる総合的な取り組みが重要。子育て家庭に寄り添い、引き続き関係機関と一層の連携を図りながらすすめていく。

【質】 教室での高速大容量通信網で心配される電磁波の影響の対策は。

【答】 P・O・E給電機で対応したい。

【質】 市営住宅入居者が安心して子どもを産み育てられるよう、思い切った改善が必要では。

【答】 次期の住生活基本計画で検討。安心して日常を過ごせるまちを



令和3年度帯広市の  
予算・各施策について

人生100年時代に向けた  
自治体の取組みについて

【質】 地域を形成するコミュニティのあり方について、どう捉えているか。超高齢社会のビジョンとコミュニティ構想について伺う。

【答】 地域が抱える課題を自ら解決する仕組みづくりに取り組むほか、全ての住民が地域の一員として、住み慣れた地域で役割を持ち、自分らしく暮らし続けられる社会の実現に向けて取り組む。

【質】 フレイル予防の取組みの現状と成果、それに伴う課題と今後の方向性について伺う。

【答】 介護予防教室の開催や地域の活動団体への講師派遣など、様々な機会を通じて普及啓発を図っており、フレイル予防につなげている。今後とも関係機関との連携の下、予防と早期対応に取り組む。

【質】 上下水道料金の改定が実施されたが、収支計画に与える影響は。

【答】 ビジョンで計画している老朽管の更新などを踏まえた収支見通しで、一定の資金が確保できる見込みになり引き下げを実施した。

用や他のエネルギー源とのバランスを図りながら活用されるべきと考える。今後も、環境モデル都市の取組みを着実にすすめていく。

【質】 帯広市にとってのばんえい競馬をどのように考えているのか。

【答】 十勝・帯広の魅力を発信する観光資源、開拓の歴史、馬文化を伝える貴重な財産であることから、将来に向けて継承していかねばならない。

【質】 とち帯広空港の運営委託を地域の発展にどう生かすのか。

【答】 道内7空港を核とした航空ネットワークの充実や機能強化などが進められるものと考え。市として運営者や関係団体と連携し、空港の活性化が地域の発展につながるよう取り組む。

【質】 とち帯広、輝く人を育むまちづくりについて

【答】 高等教育整備の取組み状況は。とち帯広教育推進まちづくり会議で協議検討を行っている。

令和2・3年度補正予算に  
対する議論の概要

キャッシュレス決済の導入

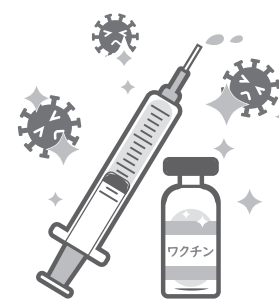
○ 感染症対策や利便性向上を目的に、市税や国保料、介護保険料、上下水道料金にキャッシュレス決済を導入することだが、注意点なども含め、わかりやすい周知を行い、納付に関する相談には引き続き丁寧に対応すべき。



コロナワクチン接種

○ 医療従事者や高齢者などへのワクチンの優先接種を始めることだが、市民からは副反応が不安との声を聞く。丁寧な相談対応や周知啓発により市民の不安軽減に努めるべき。

また、接種が円滑にすすむよう、様々な状況を想定した準備に努めるべき。



開しようとする協議会に対して、補助金を支給することだが、モデル事業が店舗のコロナ対策を3段階の星で評価する一方、市が補助する協議会では、星による評価ではなく、一定の感染防止対策の徹底を図ることを想定している。両者の取組みの差により市民に混乱を与えないよう、解消を図るべき。

飲食業への支援

○ 感染症の影響を最も受けている飲食店に対し、経営継続に向け臨時的に1店舗につき20万円を支給することだが、対象店舗の受給漏れがないよう、丁寧な周知を行い、早期支給に努めるべき。また、今後飲食業以外の業種への支援も検討すべき。

ワーケーションの推進

○ 首都圏などの企業がワーケーションなどに取り組むことができるよう、ポロシリ自然公園にWiFi環境や電源設備を整備することだが、利用者の声に応じて施設整備に一層努めるとともに、日高山脈襟裳国定公園の国立公園化と併せて道東地域の魅力発信を行うべき。



繁華街のコロナ対策

○ 市は、5番館ビルがコロナ対策を行う店舗を認定・公表するモデル事業を繁華街全体に横展

働きながら休暇を過ごすワーケーションが、全国的に広まってきている





佐々木直美 議員  
(立憲)



### 地方自治・地方創生について

**質** 地域住民の意思や希望を反映することが地方自治の基本。コロナ感染拡大の影響に対する市民意向に沿った対策が求められる中、令和2年度に市民から寄せられた要望書の状況はどうなっているのか。まだ先が見えず、長期戦も見込まれる上、医療・経済・市民生活が受けた痛手からの回復はこれからが本番。市の対応体制について伺う。

**答** 要望書は、2月末時点で前年度から6件増加し59件となっており、コロナ関連の要望が26件となっている。今後も臨時的な業務への対応は、職員の応援体制を構築するなど、効果的・効率的な組織運営を図っていく。



木幡 裕之 議員  
(市政)



### コロナ、高齢者福祉、防災対策について

**質** コロナの後遺症について医師会と情報交換はしているのか伺う。

**答** 後遺症については、情報交換は行っていない。

**質** 後遺症で受診できる外来はあるのか。かかりつけ医や、症状によって診療科目を選択しての受診となる。

**質** 第八期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の展望と力を入れたところは。

**答** 介護サービスなどの安定的な提供と地域の支え合いの推進に努める。

**質** 市の事前復興の捉え方と取組みは。

**答** 令和2年度中に強靱化計画を策定し、被害を最小限に抑え、速やかに回復できる強靱な地域社会の実現に取り組む。



西本 嘉伸 議員  
(市政)



### 文化遺産の保護が必要では？ アイヌ文化継承および宮神楽の保存

**質** 帯広の開拓の歴史を踏まえ、市にはアイヌ民族の歴史・文化の継承と理解促進の責務があると考えますが、市の認識は。

**答** アイヌ施策推進計画ではアイヌ民族の理解促進を基本方向の一つに位置付けている。令和3年度は、百年記念館などの社会教育施設を利用したアイヌ文化ふれあいゾーンの形成事業を予定している。

**質** 歴史的価値のあるものは後世に伝える必要がある。大正地域に伝わる宮神楽の市文化財への指定の可能性はあるのか。

**答** 地域への文化的貢献度は大きいが無形文化財としての価値評価を判断する調査研究が行われていない。今後評価が定まり、価値が理解されれば検討も可能。



大和田三朗 議員  
(市政)



### コロナ拡大後の市税減収に対する現状認識・課題について

**質** 税収の減少が予想される中、民間のノウハウや資金を活用した官民連携の新たな手法(SIB)を導入することにより、行政コストの削減が可能ではないか。市における導入の考えは。

**答** 経済産業省が主にヘルスケア分野における導入を推進している。導入に取り組む自治体も出てきているが、まだ事例が少なくない。官民連携の一手法として注視していきたい。

**提言** SIBの活用は、新たな社会的インパクト投資の取組みと考える。今後の行政運営には、VFMによる経済的評価が重要になってくると考えるので、調査・検討してもらいたい。



上野 庸介 議員  
(市政)



### コロナ禍を踏まえた積極的な 中小企業・小規模事業者支援を

**質** コロナ禍を踏まえた、帯広市の中小企業振興の基本的な考え方を伺う。

**答** 国は、ウィズコロナ・ポストコロナを見据え、業態転換や事業の多角化など、中小企業の事業再構築を推進する方針を示しており、これらも踏まえながら、様々な支援制度を通じて、地元中小企業の発展や経営体質の強化を促進し、地域の基盤強化をすすめていく。

**質** 地元企業の日々の経営やチャレンジを支援していく姿勢が重要ではないか。市の見解を伺う。

**答** 関係機関と連携しながら、日々の活動の中で、地元事業者が行う様々な挑戦を支援していく。



菊地 ルツ 議員  
(立憲)



### 「自覚のない偏見や思い込み」に気づき 多様性と包容性に満ちたまちづくりを

**質** 「無意識の偏見や思い込み」アンコンシャス・バイアスは根強く存在すると指摘されている。市の見解は。

**答** 無意識の思い込みは、男性優遇と感ずる市民の割合の高さや、LGBTなどの方々が感じる生きづらさなど、固定的な役割分担意識や差別・偏見の要因の一つになっていると考えられる。

**質** 同性パートナーシップ認証制度を創設する考えについて伺う。

**答** 男女共同参画市民懇話会を中心に、パートナーシップ制度をはじめ、関連施策について検討していく。

**提言** 個性を尊重し多様性を認め合う市民意識の醸成を図ることを求める。



今野 祐子 議員  
(公明)



### 人口減少防止対策と若者定着対策、 ひとり親支援

**質** 平成27年度から6年経過したUIJターン促進事業の主な取組み内容を伺う。

**答** 首都圏などに在住する移住希望者を対象に、相談会や企業説明会、移住体験ツアーなどを実施。また高校生を対象に若者定着対策のイベントを実施し、平成29年度から令和元年度で約2000人が参加。今後も高校生など若者の興味や関心に合わせて効果的に地元企業の魅力を伝える工夫をし、地元定着をすすめる。

**質** 未婚のひとり親家庭への寡婦控除のみなし適用を要望してきたが、令和3年度以降の改正の概要を伺う。

**答** ひとり親控除が創設され従来制度の特別寡婦控除と同等の控除が適用される。



大平 亮介 議員  
(共産)



### 生活保護「扶養照会」の実態は 多様な性の視点を入れた防災計画を

**質** 生活保護の利用を阻む要因の一つに「扶養照会」がある。援助ができるかどうか福祉事務所が親族に問い合わせるものだが、「家族に知られたくない、迷惑をかけたくない」などの理由で申請をためらう人もいる。照会の結果、金銭的援助に結びついた件数は。

**答** 令和元年度545件の照会の結果、金銭的援助はなかった。

**提言** 照会は個人意思を尊重した運用に。防災計画に性的マイノリティーの対応を明記する自治体もある。多様な性に関する視点を取り入れるべき。見解は。

**答** 国・北海道の情報や他自治体の事例を参考に検討をすすめる。



林 佳奈子 議員  
(市政)



### SDGs推進 コロナ禍における帯広市の情報発信

**質** SDGs推進に関する帯広市の考え方について伺う。

**答** 市民や企業などと連携しながら、計画に掲げる各施策を総合的かつ着実に推進することで、SDGsの達成に貢献していきたい。

**提言** SDGsの理念のもと、帯広市が抱えている地域課題を見える化し、自治体課題解決の環境づくりをお願いする。

**質** コロナ禍での情報発信の考え方は。

**答** 国や北海道の支援制度などについて、あらゆる機会を通じて、きめ細やかな情報提供に努めていきたい。

**提言** 十勝のリーダー都市として率先した動きと情報発信をお願いする。



鬼塚 英喜 議員  
(市政)



### 市民が幸せを感じる 緑のまちづくりについて

**質** 十勝飛行場周辺の帯広の森づくりについて、過去に自衛隊から要請を受け、航空法にかかわる支障木の伐採とハード整備を行ったと記憶している。これまでの帯広の森の整備状況と今後の整備予定を伺う。

**答** 市民や有識者などで構成する十勝飛行場周辺の帯広の森づくり検討委員会での検討を重ね、基本設計に基づき整備しており、航空法を踏まえ、植栽や散策路の造成、高さ制限管理のための伐採などの管理を行っている。

**提言** はぐくむ周辺の帯広の森の整備は市民意見をベースに、現地をよく確認し、丁寧かつ円滑にすすめるよう求める。





**椎名 成**  
議員  
(公明)



**施設のコラスター対策について**  
過去の議会でも繰り返し質問してきたが、施設のコラスターについては、災害という認識の下、日頃からいざという時のために取り組むべきではないか。

**答** これまで、ガウンの装着などに関する実演を交えた研修会を市内事業所に対し開催してきた。施設のPCR検査体制の拡充は、現時点では財政的に難しい。

**質** コロナ禍の中、DV、自殺のリスクなどがある複雑な相談に対する対応は。  
**答** 市内連携の下スムーズに対応する手法の検討を始めた。制度のはざまに課題があると認識している。どこに相談したら良いかわからないことがないように、包括的な支援体制づくりに取り組む。



**石井 宏治**  
議員  
(市政)



**コロナ後を見据えた帯広市のあり様とは**

**質** 小中学校の卒業式と令和3年度入学式の実施方法は。

**答** 在校生は参加せず、保護者の参加を可能として実施する予定である。

**質** 国では、公文書の押印の廃止を推進しているが、国の動きを受けた帯広市の検討状況は。

**答** 令和2年から、押印欄のある様式などのリストアップを始め、令和3年2月に実印と印鑑証明を求める厳格な意思確認が必要な手続きを除き、原則廃止とする基準を定めた。国も法令改正などの手続きをすすめており、市としても、できる部分から順次押印廃止を実施していきたいと考えている。



**杉野 智美**  
議員  
(共産)



**ジェンダー平等へ。理想を掲げるだけでなく施策を実行すること**

**質** 五輪組織委員会の森前会長の発言は、男尊女卑思想を表し、民主主義の根幹にかかわる。その発言とジェンダー平等をめざすべき社会についての市長の見解は。

**答** 固定的な性別役割分担意識や思い込み、男性優位の社会環境が根強く存在。解消に向け継続的に取り組む必要がある。

**提言** 意思決定の場に女性がいることが重要。女性管理職比率の抜本的引上げを。  
**質** コロナ危機の女性への影響は。  
**答** 昨年の女性の自殺者は、一昨年の8名から6名増加し、14名。  
**提言** 困難な女性ほど相談の壁は高い。「女性による女性の相談室」の開催や、相談窓口での生理用品の無償提供を。



**清水 隆吉**  
議員  
(開政)



**令和2年度から「おびひろ市民学」がスタート!**

**質** 市民学の学びの全体像について伺う。

**答** 3段階に整理し、帯広らしい食育や帯広市手話言語条例の理念、SDGsの取組みなど地域住民との対話を大切に、市民を講師にした多様な学びの提供をめざしている。講師に帯広青年会議所、JICA帯広、JA帯広かわにし、日本銀行帯広事務所や本市の各部署、関係団体など20以上の団体に協力いただいている。

**提言** 市民学は、児童生徒にとって学びになることはもちろん、地域の大人にとっても学びになる。今後さらに市民学を広げ、子ども達が市に愛着を持てるようにしていただきたい。



**小森 唯永**  
議員  
(開政)



**コロナ禍における財政出動について**

**質** 第3次地方創生臨時交付金を財源とした飲食業者への支援金について、本市の支給額20万円の根拠を伺う。

**答** 今後先行きが不透明な部分で、飲食業者が現在置かれている状況は非常に厳しいという認識はある。今回の支給額は全道的な支給の状況を鑑みて決めたもので、事業継続の一助としていただければと考えている。

**提言** 市は平日頃スピード感をもって取り組むと言っているが、今回は遅すぎる。また、この金額では少なすぎるし、管内他町村とのギャップがありすぎる。残りの臨時交付金を今本当に困っている方々への支援に充てるべき。



**小椋 則幸**  
議員  
(市政)



**安全安心で快適な街・地域経済応援策について**

**質** 災害用備蓄品の新たな拠点備蓄倉庫建設場所として、自衛隊官舎跡地を選定した理由、アクセスについて伺う。

**答** 弥生新道に面し、各避難所などへのアクセスの良い場所であると共に、水害の心配がない浸水想定区域外である。

**質** コロナ禍での市の経済対策が、どのように働くか考えるのか伺う。  
**答** 飲食業経営継続支援金や持続化補助金のかさ上げ補助は、経営継続や販路拡大・業態変換などの事業継続に寄与する。  
**質** 日高山脈襟裳国定公園の国立公園化後の名称に「十勝」が加わる効果は。  
**答** 「十勝」の知名度の上昇と、交流人口の増加による地域振興が図られる。



**大森 愛慶**  
議員  
(立憲)



**行財政改革は「市民・企業・行政」それぞれの強み・能力を生かすべき**

**質** 市は数次にわたり行財政改革をすすめてきた。コロナ禍で生活環境・生活様式がどのように変化するか見通せない。変化に対応した行財政運営をすすめる視点や市民の理解と納得感が必要と考えるが、今後の具体的な考えは。

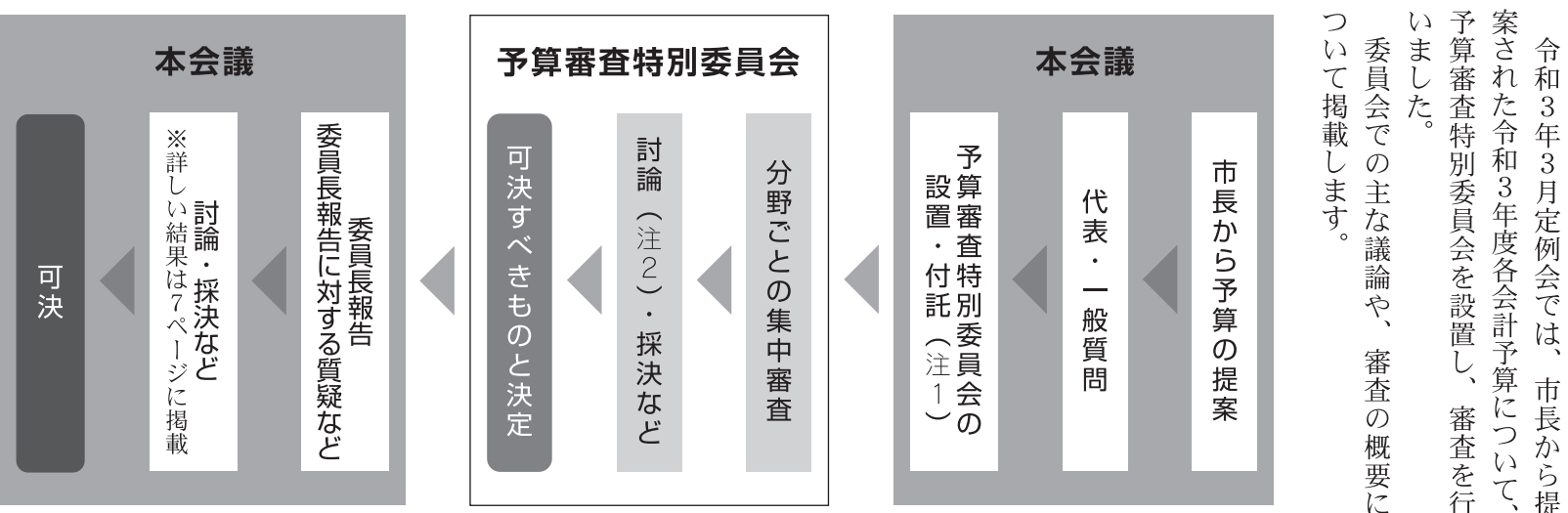
**答** 自治体を取り巻く環境は厳しさが増す中、安定的に行政サービスを提供し、住民福祉の向上を図っていくためには、行財政改革の推進が必要。人材や財源など、限りある資源を効果的に配分し、市民や事業者など多様な主体の知恵と能力を集めながら、市民生活を取り巻く環境の変化を的確に捉えた行財政運営に取り組み、持続可能な地域づくりにつなげる。

**議会トピックス** 食育に関する研修会を開催しました

令和3年2月18日に議員政策研究会の検討テーマである「食育の推進」について、全議員の課題認識の共有などを図るため、食の寺子屋直歩塾の村田ナホ氏と浦木明子氏をお招きし、研修会を実施しました。

**令和3年度予算に  
対する議論の概要**

**【審議の流れ】**



注1 付託 → 本会議での議決の前に、議案等の検討を詳しく行うため、委員会に審査を委託すること。  
注2 討論 → 採決の前に、賛成か反対か自分の意見を述べること。意見の異なる相手を自分の意見に同調させるために行う。



### 総務・防災

#### 諸証明発行手数料のキャッシュレス化

○ 令和3年8月頃より、市役所窓口における戸籍謄抄本や住民票の写しなどの発行手数料の納付にキャッシュレス決済を導入することだが、利用可能なアプリの充実など、利便性の向上に努めるべき。



#### 拠点備蓄倉庫の整備

○ 災害用備蓄品の一元管理に向け、新たな拠点備蓄倉庫を自衛隊官舎跡地に建設することだが、各避難所に増設される分散型備蓄倉庫と併せた、効果的な備蓄品の配備や災害時の迅速な輸送のための環境整備に努めるべき。

### 福祉・子育て

#### 障害者の相談支援機能の拡充

○ 地域で暮らす障害者が抱える複雑で多様な相談に対応するため、一般相談支援事業所の社会福祉士などによる相談支援機能を拡充することだが、関係機関との連携を一層強化するなど、相談支援体制の充実や相談しやすい環境づくりをすすめるべき。



### 低年齢児保育の充実

○ 高まる低年齢児の保育ニーズに対応するため、緑ヶ丘保育所に0歳児室を整備することだが、依然として低年齢児の保育ニーズは高いため、今後も適切な施設整備をすすめるべき。



#### 育児支援・産後ケアの充実

○ 新たに子どもを養育することが困難な家庭や多胎児育児家庭も、ヘルパーなどによる育児支援や家事支援を受けられるようになるほか、産後ケア事業の利用期間が57日から4カ月延長されることだが、今後も利用者などの意見を聴取しながら、利便性向上を図るべき。

### ばんえい競馬・農業

#### ばんえい競馬の運営

○ 令和2年度は過去最高の売り上げとなり、賞金・諸手当の増額や、きゆう舎の建て替えなどがすすめられているが、これまで以上に関係者と密な意見交換を行いながら、競馬開催を行うべき。



#### 地域農業の理解促進

○ 農業技術センターは、新規作物の栽培試験や市内小学生を対象とした展示場見学など、様々な役割を果たしていることから、取組みを継続し、地域農業の理解促進に努めるべき。

### 労働・産業・観光

#### 子育てしやすい環境整備

○ 従業員や市民向けに育児応援の取り組みを宣言している「子育て応援事業所」に対して、国の子育てサポート企業への認定を促し、より一層子育てしやすい環境の整備をすすめるべき。



#### 中小企業への支援

○ コロナの影響により、現在の支援制度だけでは経営の継続が難しい事業者に対し、きめ細かな相談対応や支援に努めるべき。

#### サイクルツーリズムの推進

○ 帯広市を起終点に上士幌町から大樹町までを8の字で結ぶ「トカプチ400」が、国のナショナルサイクルルートの候補になったことから、正式決定を見据え、道路環境などの整備や情報発信を積極的にすすめるべき。



### 消防・土木・水道

#### 消防車両の整備

○ 消防団が使用している消防車を、救助用資機材などを整備した小型動力ポンプ付積載車へ更新することだが、新たな装備を安全で適切に使用できるよう、団員への丁寧な説明や訓練方法の検討をすすめるべき。

### コールセンターの導入

○ 大雪時には、除雪の問い合わせなどが殺到することから、着信の自動保留や音声録音を行う「コールセンター」を導入することだが、問い合わせ内容をしっかり分析し、除雪技術の向上につなげるべき。



#### 上下水道施設の老朽化対策・災害対策

○ 老朽化した上下水道施設設備の更新を行うことだが、市民のライフラインである水道・下水道の安定的な供給ができるよう、施設の長寿命化や災害対策に努めるべき。



### 教育・生涯学習

#### 不登校児童・生徒へのICTの活用

○ 不登校児童・生徒に対しては、教職員が定期的な家庭訪問や学習プリントの配付などにより、個々に応じた支援を行っていることだが、今後は生徒一人ひとりに端末が貸与されることから、オンラインによる学習支援の導入も検討すべき。

#### 動物園のアザラシ舎の整備

○ 老朽化しているアザラシ舎に代わり、使用していないアシカ舎を新アザラシ舎として使用し、「スプラッシュ演出」

を狙ったステージの増設や、スロープの改修などを行うことだが、本来の生息行動の発現や繁殖のしやすさを考慮しながら、老朽化する獣舎の改築をすすめるなど、今後も魅力ある動物園づくりに努めるべき。



老朽化がすすむ現在のアザラシ舎

### 歳入

#### 入湯税

○ 帯広市では温泉の入浴客1人あたり、宿泊は150円、日帰りは50円の入湯税を納めてもらっているが、今後、コロナの収束を見据えながら、観光客の受入態勢の整備などの有効な使い道や税率の見直しについて検討すべき。

### 討論・採決

#### 組替えを求める動議・討論

○ はじめに予算の組替えを求める動議の提案理由説明があり、その後、4名が組替えを求める動議を除く全案件に賛成の立場で討論を実施。

#### 採決

○ 全案件が、全会一致もしくは賛成多数で、委員会として原案のとおり可決すべきものとすることを決定。



原案に賛成

西本 嘉伸議員（市政）

来年度予算案はコロナ対策を主体とした補正も提案された。市民の暮らしに配慮した執行を求める。コロナ関連の市民からの相談が2万8000件を超えている現状を鑑み、新たな視点も必要となる。災害に備えた危機管理のほか、市民生活に直結する地域優良賃貸住宅の入居条件の見直し、大空学園の整備は今後の指針として重要となる。未利用市有地の処理はプロポーザル・民間活力導入による自主財源の確保も求め、賛成の討論とする。

原案に反対(組替え動議に賛成)

稲葉 典昭議員（共産）

コロナ対策でPCR・社会的検査とモニタリング検査、変異株検査を拡大し、市民と事業者への支援を拡充することが必要。地域資源を活用する地域循環型経済をすすめ、雇用環境整備で若者の結婚・出産の希望をかなえること。子どもの貧困対策は喫緊の課題。中学生までの医療費無料化、国保の子どもの均等割の免除、低所得者への水道料金の減免、西3・9再開発事業費の削減、ごみ処理場整備費分担金凍結などの組替え動議に賛成。

原案に賛成

大林 愛慶議員（立憲）

新年度は米沢市長の3期12年の仕上げであり、コロナの影響が厳しい中「命と健康」を守り「経済」を維持・発展させていく大事な時となる。一般会計予算は過去最高となったが、自主財源は縮小し、市税も大きく減少した。少子高齢化・人口減少に対応できる行政サービスを維持していかなくてはならない。築き上げた市民との信頼を基にリーダーシップを発揮し、この難局を乗り越える盤石な十勝・帯広の地域づくりを期待する。

議案第4号に反対

小森 唯永議員（開政）

新中間処理施設整備に対し反対の討論を行う。多くの住民の意見にかかわらず組合で基本構想が策定された。組合案では1人あたり約4万3000円の負担となる一方、現在地建て替え案では約2万4000円の負担で済む。なぜ安価にしないのか。現施設で河川が氾濫した時の浸水は最高でも1mだが、組合が計画している候補地では、5m以上の所もあり、建設場所は、誰がどう見ても不自然であり、納得できない。

原案に賛成

藤澤 昌隆議員（公明）

ワクチン関連の予算に無駄なものはない。速やかな予算の執行と、隅々にまで予算が行き渡るようお願いする。また、一般の高齢者へのワクチン接種が始まるが、スムーズな実施を求める。新電力では前年度対比4000万円の増額が示された。さらなる取組みを求める。ばんえい競馬も好調、今後はばんえい競馬の魅力アップと継続開催に向けさらなる取組みを求める。感染予防と経済の両輪を回す政策を強く要望し、賛成の討論とする。

原案に賛成

裨貫 秀次議員（開政）

令和3年度各会計予算に賛成の立場で討論に参加する。本予算は、米沢市政の3期目として最後の本格予算となる。3期の重点項目を柱に市長公約や懸案事項などに幅広く目配りがなされた予算策定になっていることを評価する。しかしながら、コロナの感染拡大による難しい舵取りを余儀なくされていることにも注意を払い、これまで以上に政策判断と財政運営の手腕を発揮され、全庁一丸となって取り組まれるよう要望する。



その他の案件は全会一致で原案のとおり可決しました。市議会ホームページでは、すべての賛否を公開しています。

賛否の分かれた議案など

議員名等	議決結果	議員名等																												
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
議案名等		石橋 勝美	佐々木直美	椎名 成	上野 庸介	林 佳奈子	小椋 則幸	鬼塚 英喜	大平 亮介	菊地 ルツ	大林 愛慶	清水 隆吉	今野 祐子	藤澤 昌隆	大和田三朗	木幡 裕之	石井 宏治	西本 嘉伸	杉野 智美	榎山 直義	鈴木 正孝	裨貫 秀次	小森 唯永	大竹口武光	大塚 徹	横山 明美	佐々木勇一	稲葉 典昭	鈴木 仁志	有城 正憲
議案名等		立憲	立憲	公明	市政	市政	市政	市政	共産	立憲	立憲	開政	公明	公明	市政	市政	市政	市政	共産	立憲		開政	開政	公明	市政	市政	市政	共産		
議案名等		否決	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
議案名等		可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案名等		可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案名等		可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案名等		可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案名等		可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案名等		可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案名等		可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

常任委員会等の動き 2月～4月

議 運	建 文	産 経	厚 生	総 務
<p><b>協議事項</b></p> <p>令和3年第1回臨時会の運営／令和3年第2回定例会の運営／議会運営検討項目／議会運営委員会調査報告書の取りまとめ</p>	<p><b>重点調査項目</b></p> <p>道路の維持管理／住まい／緑の保全及び公園の維持管理／上、下水道施設の維持管理／学校教育</p> <p><b>理事者報告</b></p> <p>「2月」下水道汚水処理施設の統合／大空小学校跡地利用の検討状況</p> <p><b>質問通告</b></p> <p>「2月」動物園の活性化</p>	<p><b>重点調査項目</b></p> <p>観光振興及び空港活性化／地元企業の振興／農林業及び畜産業の振興</p> <p><b>理事者報告</b></p> <p>「2月」とかち帯広空港の運営事業開始／西19条北工業団地の造成／帯広市農業産出額令和2年推計値</p> <p><b>質問通告</b></p> <p>「2月」ばんえい競馬の報償費と施設整備／ばんえい競馬の開催業務／ばんえい競馬の運営</p>	<p><b>重点調査項目等</b></p> <p>環境保全及び廃棄物処理／保健予防・医療及び国民健康保険／高齢者・障害者福祉及び介護保険／子育て支援／新型コロナウイルス感染症対策</p> <p><b>理事者報告</b></p> <p>「2月」第六期帯広市障害福祉計画（原案）に対するパブリックコメントの結果と計画（案）／第八期帯広市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（原案）に対するパブリックコメントの結果と計画（案）</p> <p>「4月」（仮称）帯広市医師会看護専門学校整備／新型コロナウイルスワクチン接種スケジュール</p> <p><b>質問通告</b></p> <p>「2月」コロナ禍における生活困窮者支援</p>	<p><b>重点調査項目</b></p> <p>地方創生・自治体間連携／効果的・効率的な自治体経営の推進／地域防災と市民協働のまちづくり</p> <p><b>理事者報告</b></p> <p>「2月」第11次帯広市交通安全計画（原案）に対するパブリックコメントの結果と計画（案）／帯広市強靱化計画（原案）に対するパブリックコメントの結果と計画（案）</p> <p><b>質問通告</b></p> <p>「2月」自衛隊との連携・協力／期日前投票所の検討状況</p>



## 議会トピックス

3 常任委員会がそれぞれテーマに基づいて調査を行い、市に提言を行いました  
※建設文教委員会は令和2年12月に提言を行っています

### 産業経済委員会

【所管事務に係わる市内施設5カ所の現地調査】

#### ①とがちむら

食やアウトドア体験など、十勝・帯広の魅力を満喫できるよう、施設の魅力向上や運動性の強化



#### ②ポロシリ自然公園

冬季のキャンプの魅力の発信強化やコンテンツ・設備の充実、ビジネス利用の強化



#### ③日本酒醸造の取組み

十勝産食材を使用した新たな酒類の研究・開発など、新たなチャレンジに対する積極的な支援

#### ④食肉処理

輸出拡大に向けた積極的な支援



#### ⑤事業創発の取組み

若年層を含めた幅広い年齢層にLANDを活用してもらえよう、周知強化や支援メニューの拡充

### 総務委員会 【交通安全対策について】

課題

- ・自動車や自転車の運転者、歩行者の交通ルール・マナーの向上へ向けた対策が必要
- ・道路交通環境の整備が必要
- ・高齢者へのサポートや教育が重要 など

#### 交通安全意識の普及啓発 交通安全教育の推進

提言

- ドライブレコーダーや反射材用品の普及・利用促進に向けた取組みの推進
- 事故情報や危険箇所などの効果的な発信

#### 道路交通環境の整備

- 歩行者・自転車・自動車それぞれ安全に通行できる空間の整備
- 学校周辺の点検や除雪などによる通学路の環境整備および見守り体制の強化

#### 高齢者の交通安全対策

- 後付け急発進等抑制装置などの普及促進に向けた市独自の補助制度創設の検討
- 免許を自主返納した高齢者への支援の検討

### 厚生委員会 【妊娠から子育て期にわたる切れ目ない支援 ～子育て世代包括支援センターについて】

課題

- 関係部署や関連機関などとの連携が不十分
- まだまだ存在が知られていない

提言

- 組織・地域間連携の拡大、強化
- 利用促進のための周知強化
- 人員の充実と専門職の配置

課題

- 子育て支援事業の充実と民間団体等との連携強化
- 様々な困りごとをサポートする体制のさらなる充実が必要

提言

- 妊娠・出産・育児支援をさらに充実
- 障害や発達などに心配のある子どもの早期発見と適切な支援の提供
- 様々な子育て支援団体との情報共有と活動の促進
- 生活困窮家庭への支援の充実

## 議会トピックス

議会運営委員会が調査報告をまとめました

### ■ 市民参加の一層の促進

- ・コミセンなどで開催していた地域意見交換会と、若年層以外の層とのお出かけ意見交換会を統合し、常任委員会ごとにテーマを設定して、意見交換を行うことを決定しました。※令和2年度はコロナにより中止
- ・若年層と行うお出かけ意見交換会は、現行どおり開催を継続することとしました。

### ■ 新型インフルエンザ等に関する取組み

- ・コロナ禍でも議会機能を維持していくため「帯広市議会新型インフルエンザ等対応指針」を策定するとともに、策定後の状況変化などを踏まえて内容を一部改正しました。

### ■ 常任委員会の所管

- ・帯広市の組織再編を踏まえて、令和3年5月から所管事務と委員会の名称を変更することとしました。（変更点は太字の下線部）

### 総務委員会

【所管事務】

重要政策の企画及び総合計画／財務／広報及び広聴／市税／総合的な行政の推進／**危機対策**／消防団／交通安全**及び防犯**／職員／財産／情報／**戸籍及び住民基本台帳**／**国民年金**／**支所**／会計管理者の所管に属する事項／選挙管理委員会、公平委員会、固定資産評価審査委員会及び監査委員の所管に属する事項／他の委員会の所管に属しない事項

### 経済文教委員会

【所管事務】

商業及び工業／産業間の連携／労政／**消費者**／観光／**国内外の親善及び交流**／空港／農業、林業、畜産業及び水産業／ばんえい／農業委員会の所管に属する事項／**教育委員会の所管に属する事項**

### 厚生委員会

【所管事務】

社会福祉／**市民活動**／**男女共同参画**／介護保険／乳幼児及び子育て支援／保健衛生／国民健康保険／後期高齢者医療

### 建設委員会

【所管事務】

都市計画／道路、河川及び橋りょう／**交通機関**／土地の開発及び区画整理／住宅並びに建築指導及び建築確認／建築及び営繕／緑化推進及び公園／**環境保全及び公害対策**／**清掃その他環境衛生**／上、下水道

## ～令和3年6月定例会 開催予定日のお知らせ～

開催日時		会議内容
6月	10日（初日）	13時～ 本会議
	16日～18日、21日、22日 ※16日は予備日	10時～ 一般質問
	23日	10時～ 議案審査特別委員会
	25日（最終日）	13時～ 本会議

- 議会は傍聴できますが、マスクの着用など、感染症対策にご協力ください。（感染症の発生状況によっては、別室モニターでご覧いただく場合があります）
- 咳などの症状がある方は、傍聴をお控えください。
- 議会の様子は、インターネットから生中継と録画映像配信を行っておりますので、市議会ホームページからご覧ください。

帯広市議会

検索

※日程は現時点での予定であり、変更することがあります。

## 編集後記

コロナの感染が日本国内で初めて確認されてから1年が経過しました。いまだに感染症の収束の兆しが見えない中、今回の議会ではワクチン接種、コロナ禍における生活や事業者の支援など、市民の生活に大きく関わる議論が活発に交わられました。今後とも一般質問や各委員会活動などについても、注目していただければと思います。

（編集委員 大平 亮介）